

# 中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

## 1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

中国・四国ブロック内のHIV感染者・AIDS患者の報告数は、全国の動向と同様の動向で、平成22年は増加したが、平成23年は減少している（図1、図2）。

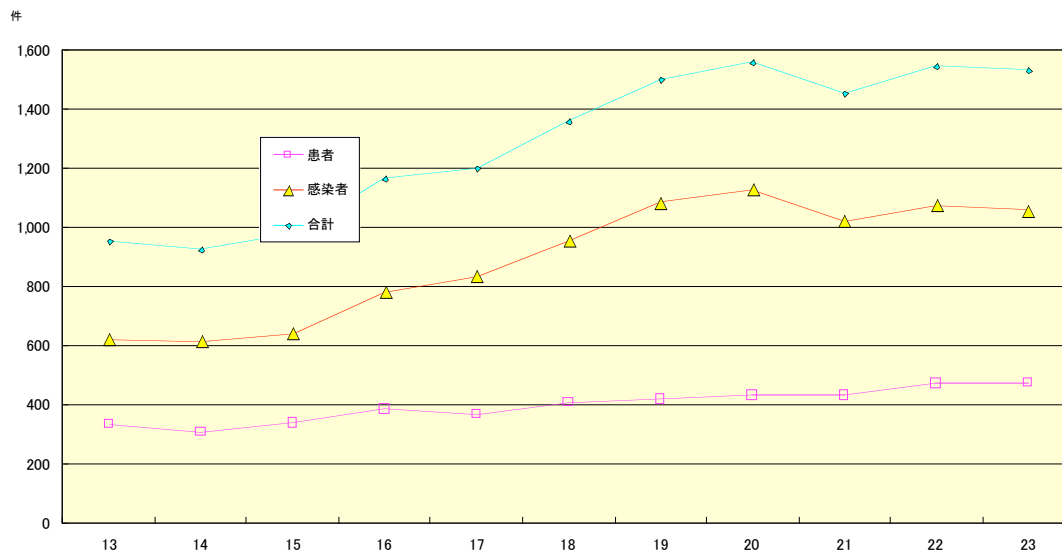


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

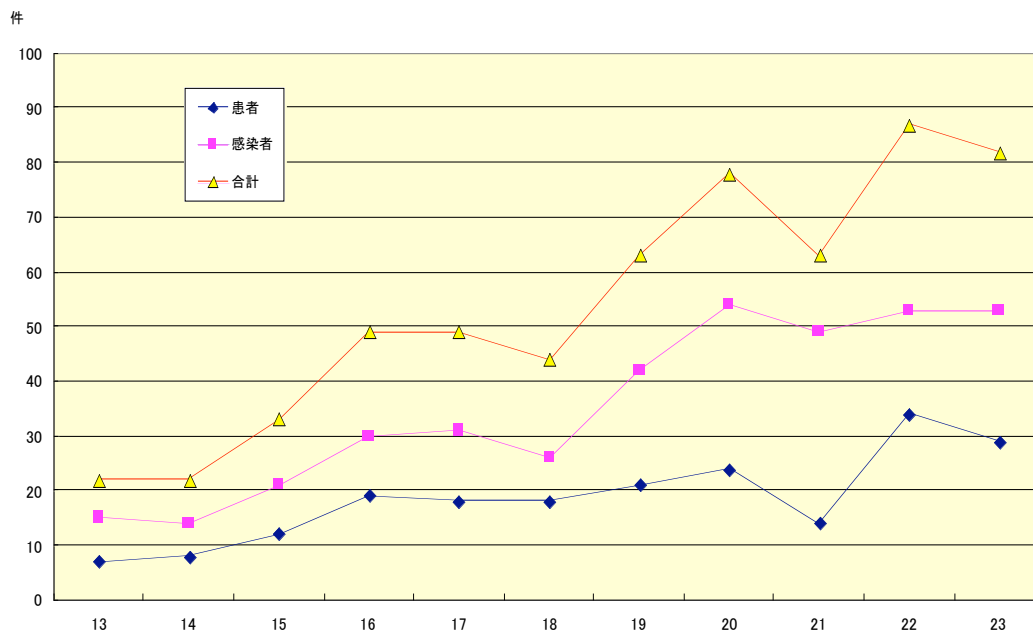


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

## 2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(全国 H23 年報告)

### (1) HIV感染者について

全国で平成 23 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 206 件 (19.5%)、同性間の性的接触が 722 件 (68.4%) と、性的接触によるものがあわせて 928 件 (87.9%) と大半を占めている (図 3)。

### (2) AIDS患者について

全国で平成 23 年に報告された、AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触が 124 件 (26.2%)、同性間の性的接触が 262 件 (55.3%) と性的接触によるものがあわせて 386 件 (81.5%) と多くを占めている (図 4)。

図 3 全国のHIV感染者の感染経路別内訳

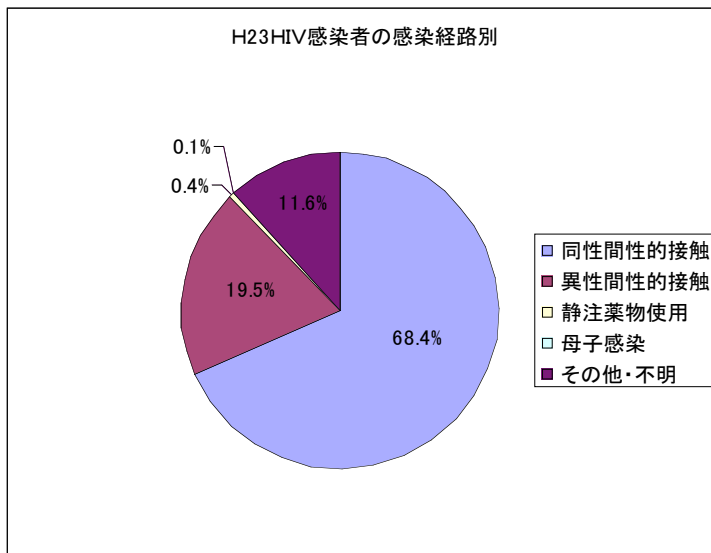
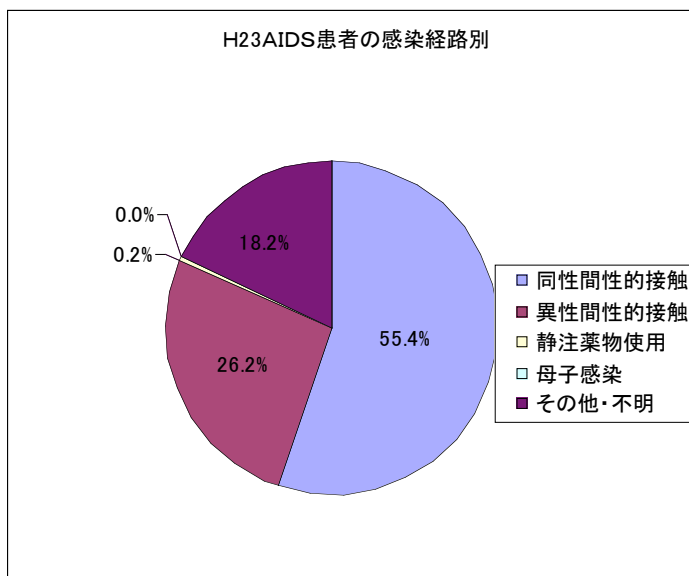


図 4 全国のAIDS患者の感染経路別内訳



### 3 無料匿名検査及び相談

中国・四国ブロック内の自治体における無料匿名 HIV 抗体検査件数、相談件数とも、平成 20 年まで増加していたが、平成 21 年は減少し、その後、横ばいで経緯している（図 5）。

このため、保健所等における HIV 抗体検査・相談を引き続き推進、周知する等の取り組みが必要である。

なお、平成 23 年第 1 四半期では、中国・四国ブロック全体（第 1 四半期で比較）では、相談件数は、H23 年で 3,593 件であったのが、H24 年では、3,270 件（表 1）。

HIV 抗体検査件数は、H23 年で 2,067 件であったのが、H24 年では、1,826 件（表 2）と減少している。

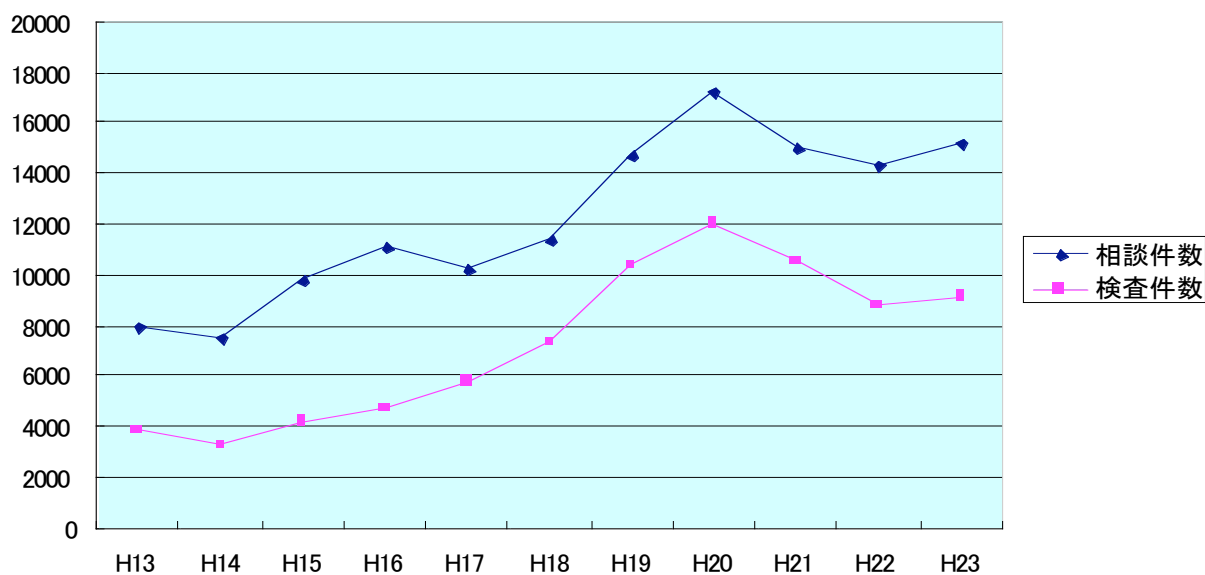


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次

相談	検査	
	H23第1四半期*	H24第1四半期*
鳥取県	3	5
島根県	155	119
岡山県	691	568
広島県	1,612	1,405
山口県	253	251
徳島県	207	224
香川県	266	272
愛媛県	382	394
高知県	24	32
計	3,593	3,270

検査	相談	
	H23第1四半期*	H24第1四半期*
鳥取県	136	139
島根県	86	88
岡山県	234	275
広島県	699	584
山口県	255	31
徳島県	160	187
香川県	87	93
愛媛県	293	289
高知県	117	140
計	2,067	1,826

\*第1四半期とは、1月から3月のこと

表 1 中国・四国ブロックの相談件数  
(H23 と H24 の比較)

表 2 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数  
(H23 と H24 の比較)

